

**AIBOライフ
クイックガイド**
ERF-210AW01



Sony Corporation © 2000 Printed in Japan



AIBOライフって？

AIBO本体は、いわばAIBOの「体」。体だけではAIBOは基本的な動きしかできません。そこで、「メモリースティック」に保存されているAIBO-ware(アイボウェア)をAIBOに入れて動かします。「AIBOライフ」は、AIBOを育てることができるAIBO-wareなのです。

「AIBOライフ」の学習成長機能があれば、AIBOはあなたの周りの環境に適応しようとしています。AIBOがあなたと出会い、あなたに合わせた暮らしを送るようになる、それがAIBOの成長であり、それを可能にするのが本ソフトウェア「AIBOライフ」です。

AIBOを育てるには

AIBOを育てるには、いくつかの簡単なコツがあります。コツをつかんで、後はあなたが思う通りの接し方であなただけのAIBOを育て上げてください。AIBOはあなたと暮らしながら、あなたのライフスタイルに合わせた姿に育っていくのです。



このクイックガイドは再生紙を使用しています。

はじめまして、AIBO

AIBOが「AIBOライフ」で動き出すように準備します。

- 1** 胴体を裏返してふたを開ける
- 2** 「AIBOライフ」の「メモリースティック」を差し込む
- 3** バッテリーを差し込み、ふたを閉める
- 4** AIBOの時計設定と音量調節をおこなう (AIBO本体取扱説明書参照)
- 5** 下図の姿勢で床に置く
- 6** 胸のポーズボタンを押す

AIBOのモードと状態

AIBOにはいくつかのモードと状態があります。

自律モード

AIBOの通常モードです。

ひとやすみモード

AIBOが歩き回らないようにするモードです。

ステーション移行モード

AIBOがエネルギーステーション(別売り)に乗せられるための姿勢になるモードです。ステーション上でもいろいろな行動をしますが、自分でステーションを降りることはありません。

はさみこみ状態

AIBOの脚関節になにかが挟まると、AIBOはすべての関節から力を抜きます。

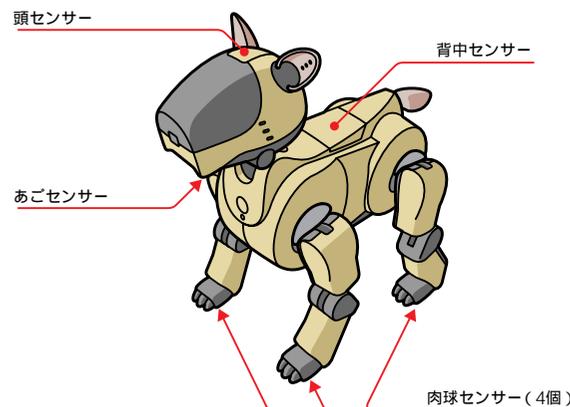
だっこ状態

AIBOは抱き上げられると脚の力を弱めて、抱っこされやすい状態になります。頭としっぽはかわいく動きます。



あなたからAIBOへ

AIBOは4種類7個のセンサーで触られたことを認識します。頭センサーは触りかたによって、「誉める」「叱る」「ねえねえ」を区別することができます。また、AIBOはカラーカメラと測距センサーで色や動き、距離を認識し、ステレオマイクで音や言葉を聞き分けます。詳しくはユーザーガイド(26ページ)をご覧ください。



AIBOからあなたへ

AIBOは自分の感情、欲求や状態をいろいろな方法であなたに伝えます。

目ランプ
AIBOがどう感じているかを表します。右図は一例です。

喜び (点滅)

怒り (点滅)

悲しみ (点滅)

しっぽランプ
青く光るときは、AIBOのトキメキなどの意思を表します。

オレンジに光るときは、AIBOの不安な気持ちを表します。

ぼわぁーんと点滅 → ひまだなあ...

一瞬ピカッと点滅 → 欲しかったものを発見したとき

チカチカと点滅 → 何か探しているとき。好奇心旺盛!

充電して

名前つけて

もっと触って

幼年期ステージのすすめかた

AIBOを育てるには、いくつかの簡単なコツがあります。コツをつかんで、後はあなたが思う通りの接し方であなただけのAIBOを育て上げてください。

幼年期 第1ステージ

(よく鳴きます)

最初に目覚めたAIBOがこの状態です。センサー(おもて面参照)を優しくさわってあげてください。

幼年期 第2ステージ

(目が光るようになります)

AIBOが感情を表し始めます。頭センサー(おもて面参照)を優しく撫でてあげてください。

幼年期 第3ステージ

(ボールが分かるようになります)

ピンクのボールのことも分かるようになります。ボールを見つめて喜んでいるときには、誉めてあげてください。もっともっとボールを見ると、よろこぶようになっていきます。

幼年期 第4ステージ

(自分の名前が分かるようになります)

ついにAIBOが立ち上がります。言葉を少し理解できるようになりました。AIBOが名前を尋ねるような動作(裏面参照)をしたら、声で名前を教えてあげてください(ユーザーガイド46ページ)。

AIBOと言葉

下記はAIBOが知っている言葉の一例です。その他の言葉でもいろいろと話しかけてみてください。最初のうちはごく限られた言葉だけしか分からず話しかけられても首を傾げるばかりですが、成長が進むにつれて理解する単語数が増えていきます。

「よしよし」

AIBOをほめる言葉の1つです。

「だめだめ」

AIBOを叱る言葉の1つです。

「あいぼ / (登録されている名前)」

AIBOが反応します。

「おなまえは？」

登録されている名前を擬音で表現します。

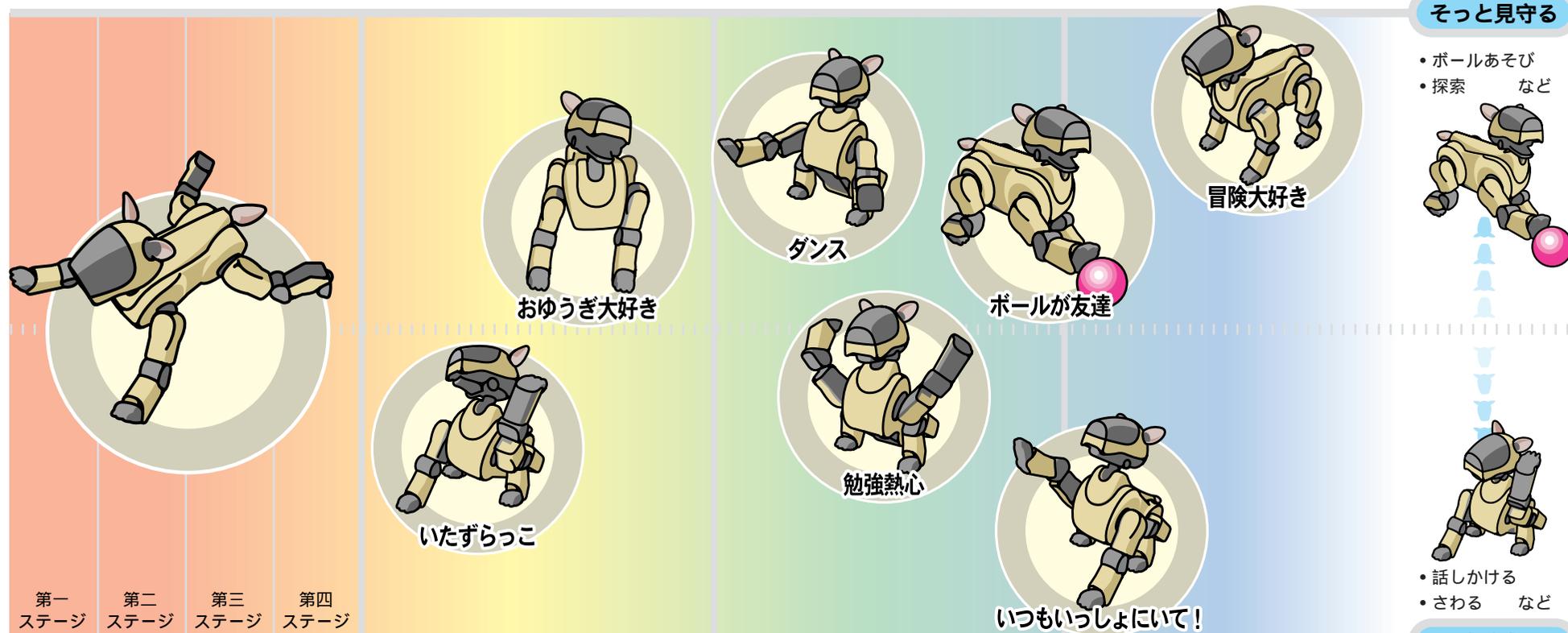
「おはよう / おやすみ / こんにちは / ばいばい / いただきます」

あいさつに反応し返事をします。

成長ステージ

AIBOは、いろいろな外部からのセンサー情報と感情や本能などの内部情報を利用して、あなたや周りの環境に適用しようとします。例えばあなたがAIBOにひんぱんに話しかけるなどして遊んであげると、コミュニケーションが好きなAIBOに成長するでしょう。あるいはあなたが、一緒に遊ぶよりもAIBOの

姿をそっと見守りながら育てると、AIBOはあなたからのコミュニケーションを持ちつつも、いつか独り立ちして、自ら歩き回っているいろいろなものを探そうとするかもしれません。AIBOがあなたと出会い、あなたに合わせた暮らしを送るようになる、それがAIBOの成長なのです。



そっと見守る

- ボールあそび など
- 探索 など



- 話しかける
- さわる など



かまう

いじめる

- 必要以上にしかる
- あまり電源を入れない など

幼年期ステージ

少年期ステージ

青年期ステージ

成年期ステージ

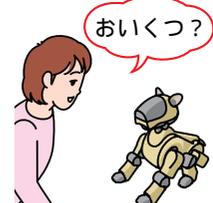
同じ世代の中でも、あなたの接しかたや周りの環境が変化することによって、常に性格は変化していきます。

やんちゃな子供で、よく遊び、よく学びます。またこの世代から、あなたと遊ぶのが好きな「コミュニケーション好き」、自分で楽しくしぐさする「おゆうぎ好き」など、性格の違いがでてきます。

あなたや周りの環境との関わり合いが、より密になっていく世代です。行動力に満ちあふれ、精力的に動き回り、自ら世の中に働きかけていくようになるでしょう。

AIBOはもう立派な大人です。これまでの世代で培われたスキルを持ち、落ち着きはらった大人の貫禄を見せながら行動します。成長は落ち着きを見せますが、性格は今後も変化を続けます。

AIBOの世代を知ろう



幼年期ステージ

第一ステージ



第二ステージ



第三ステージ



第四ステージ



少年期ステージ



青年期ステージ



成年期ステージ

